（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	社員就業規則に基づく労働条件により社員を就業させる義務を負い、社員の国籍、信条、性別、社会的身分を理由として、不合理な差別的取り扱いをしません。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	2019年11月27日にTOSYSハラスメント撲滅宣言を行い、ハラスメント行為を断じて許さず、全ての従業員が互いに尊重し合える、安全で快適な職場環境づくりに継続的に取り組みます。またコンプライアンス･ハラスメント相談窓口として外部相談窓口を設けるなど、相談し易い環境をつくり継続していきます。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	毎週水曜日及び安全誓いの日をノー残業にするなど社員が帰りやすい環境づくりを行ないます。また、経営層による社員の勤務状況の確認･健康状況の確認を行っていきます。								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者については、業界団体(ITEA)の指導･検討結果により実施していきます。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	･労働安全衛生マネジメントシステム(ISO45001)を取得、PDCAを通し、より働きやすい職場への推進をしています。 ･安全衛生･品質に良いものを、早く、安く、しかも無事故、無災害で工事を完成することを目的として、「安全施工サイクル」を定めて取り組んでいます。 ･月1回の安全衛生協議会および安全衛生委員会等を開催し、安全衛生関連情報の社員･協力会社への情報共有の実施をしています。			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	メンタルヘルス研修および年1回のストレスチェックを行い、従業員の健康管理を行っていきます。また、年次有給休暇の取得推進期間を設け、取得しやすい環境づくり、社員のリフレッシュに努めていきます。			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性社員の積極的な雇用、専門職能力の高いシニアスタッフの雇用など、多種多様な人材が活躍できる職場環境の整備に取り組んでいきます。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	会社の業務に関する従業員の知識、技能、安全、衛生等の向上を図るために必要な教育･研修を社内･外で実施していきます。また社員の働きがいの観点から、資格手当支給規程を設けており、今後も個々のスキルアップに繋げていきます。				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	ジョブリターン制度を施行しており、自主退職した社員等にも柔軟に受け入れる環境が整っており、継続していきます。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	従業員の残業時間･有給休暇取得状況を経営会議で経営層に周知し、従業員の健康管理に努めていきます。また、週1回必ず定時退社日を設け、心身のリフレッシュに努めていきます。			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	「廃棄物処理手順」を定め、適切な処理に取り組んでいます。 また定期的に監査(各拠点セルフチェック、内部監査)を実施し適切な処理をチェックしています。											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	「環境配慮活動規定」を定め、毎月のエネルギー使用量の分析･評価をおこなっています。							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	環境マネジメントシステムの取組みにおいて、環境目標を設定し、各組織においてエネルギー低減に取り組んでいます。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	「化学物質リスク評価要領」に基づくリスク分析(リスクアセスメント)･リスク低減措置を実施しています。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	TOSYSの森(林野庁分収造林制度)の森林整備による環境保全及び生態系への影響の低減化に貢献していきます。						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	･長野市エコサークル(ゴールドランク)を取得し、ごみの減量･リサイクル及び地球温暖化対策に配慮した事業活動に積極的に取り組んでいます。												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	水資源(地下水)の利用状況はございません。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	ISO14001(EMS)に基づきPDCAを回し環境影響を低減していく取組みをしています。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	環境方針をホームページに公表しており、全社員が環境汚染の予防、環境負荷の低減に努めていきます。												12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	一部事業所において、太陽光発電により事業活動に利用しています。							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	環境負荷を軽減し地球環境保全に貢献するため、「環境配慮活動規程」を定め、エコマーク製品、グリーン購入を推進しています。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンス規程により、透明な取引についての条文を記載し、社内浸透を図っていきます。																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンス規程により、公正かつ自由な競争を維持･促進するため、関連法令を遵守し、市場経済の活性化及びコストリダクションに努めていきます。																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	コンプライアンス規程により、第三者の特許権及び著作権など知的財産権を不正利用するなど侵害する行為は行わない事を明記し社内浸透を図っております。また、社内においても知的財産権に係わる創作活動を奨励し、その適切な保護と活用に努めていきます。								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	･ISO27001(ISMS)に基づき、個人情報を含めた情報資産の管理を「情報セキュリティ管理規程」に定め管理しています。 ･個人情報等を適切に保管･管理しているか、マネジメントプロセスの中で定期的にチェックをしています。																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	弊社事業での利用はございません。																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	コンプライアンス規程により、取引先に対し、贈賄行為はもとより、一般的なビジネス慣習等社会通念を逸脱した過剰な接待及び贈答を行わないこと、受けないことに努めてまいります。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	工事品質の更なる向上を図ることを目的として「自主点検･自主検査実施要領」を定めて取り組んでいます。			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	TOSYS独自の品質マネジメントシステムを構築し、PDCA活動から品質向上に向けた取り組みを実施しています。									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	工事施工時における、環境への影響について事前把握を行い、地域周辺への皆様への説明、必要な対策を行うなど、環境へ配慮した取り組みを行っていきます。						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	事業環境変化への対応、お客様ニーズを満たしているか等の見直しを行い、課題解決に向けた取り組みを行っていきます。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	事業活動を行うにあたり、地球環境保全への取り組みを継続し、資源の有効活用とリサイクル型社会を目指して地域社会との調和を図っていきます。また、ボランティア活動に対しても積極的に参加し、豊かで健全な社会環境づくりに貢献します。				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	TOSYSグループドリームフェスタでのバザー収益を福祉団体への寄贈や災害支援金等を行ったり、ボランティア活動への参加、森林整備など社会貢献活動へ積極的に取り組んでいきます。				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	IT地産地消や信州ITバレー推進への取り組みにより、地域資源の底上げを行っていきます。								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営方針を明文化し、社内外(ホームページ)へ公開しております。また、朝礼で経営目標を全従業員で復唱して浸透を図っております。								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンス･マニュアルに、コンプライアンス定義や推進体制を明記し、社内研修や相談窓口の設置など社内浸透を図っていきます。																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	全ての役員及び従業員が事業活動において法令及び企業倫理を遵守するために、コンプライアンス規程にもとづいて日々の業務活動のなかで実践しております。																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	コンプライアンス･マニュアルに、5つのステークホルダーを明記し各ステークホルダー毎に遵守すること事項を定め、社内研修などで浸透を図っております。																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	グループ会社一体となり、会社として管理すべきリスクを「経営戦略リスク」「業務運営リスク」「災害リスク」の3種類に分類し、リスク発生時に対する迅速な対応に備えております。																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体に対し、企業としての社会的責任を果たすよう、一切の関係を持ちません。関係を強要された時は、屈服せず断固とした態度で対応していきます。																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	業務継続マニュアルによりあらかじめ業務継続に向けた業務実施範囲･方法等について「事業継続計画」を作成し、インシデント発生時に備えております。									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	グループ会社一体となり、災害時の参集訓練、安否確認訓練等を定期的に実施しており、有事に備えた対策を行っております。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）